

共同研究プロジェクト

「日・中・英の諺による異文化の比較研究」

活動報告

楳 博行

本研究では、現代社会におけるグローバリゼーション化の波の中での人間関係の円滑化を目的とし、日本語・中国語・英語の3つの言語を使用して、各々の言語文化における思考方法の分析と比較を行い相互理解の探求を行うものである。

本年度は3年目にあたり、過年度研究の総まとめとともに、日英の諺比較による学生の語学学習意欲向上への影響を検討した。この学生への影響に関する検討は、研究会に後続して日英の諺比較のクイズにより、陸君が学内で主宰するEnglish Cornerの参加学生に対して行われた。この結果、参加者全員から諺と英語への興味がより増したとの感想を得ることができた。英語への興味をもつ学生による評価という点を割り引いたとしても、本共同研究が英語学習への効果を増大させるものとなっていることは否定できない。なお、以下が本年度に行った共同研究プロジェクトの内容である。

1. 第3回研究会の開催

(日時) 2012年2月10日 (金)

13:00~15:00

(場所) 普照館2階232教室

(内容) 〈研究報告〉

永野貴子

「諺研究の課題と活用」永野貴子

陸 君

「諺の国別表現の違いについて」

〈学生への諺クイズ〉

English Corner参加学生9名

2. 『人間学研究』第12号での共同研究成果公表

陸 君「(研究ノート) 英・日・中のことわざで見る文化の相異①—互いに似た表現を中心に」

永野貴子「(研究ノート) 学生アンケートから見た日常生活における諺の活用」



第3回研究会の様子